

実施日：令和6年9月4日／10月16日

研究テーマ：学校事務を「つかさどる」ための専門的な知見の体系的な追及

三認定のケーススタディ



財務規則・財務実践交流



研究会の達成目標：

1. 三認定のケーススタディ改定を行い、府費事務の正確性の向上を図る。
2. 財務規則・財務実践交流を通じて、学校予算の適正な執行と効果的な活用を目指す。

## 活動内容

◎三認定のケーススタディ、財務規則・財務実践交流の2グループに分かれて取り組みを進めた。

### ①三認定ケーススタディ グループ

9月…はじめに前回行った教職員の出産・育児に伴う手続きについて復習したうえで、次項の親族の扶養に関することを中心に改定を行った。

10月…引き続き、ケーススタディの給与改定・諸手当・所得税に関する項目を中心に改定作業を行った。これまでの項目とは異なり実際に実務を経験することが少ないケースも含まれていたため、府の「給与関係ガイドブック」や「給与実務の手引き」・共済組合の「共済のしおり」などを読み解きながら確認を進めた。

### ②財務規則・財務実践交流 グループ

9月…経験の浅い学校事務職員から、2学期現在の予算の執行状況等を報告してもらいながら疑問点や各校の状況を交流した。後半は、「令和6年度学校園事務提要」の講読を行った。今回は需用費の項目について丁寧に読み解きながら、実際の処理に関する注意点や電子決裁移行による変更点などについて話し合った。

10月…前回の学校園事務提要の講読の続きを行い、役務費・使用料・負担金等の費目や流用、前渡資金等の手続き、さまざまな事例やその事務処理について交流した。

## 今後の活動

次回の研究会では、今年度の監査報告等、大阪府教育委員会配信動画を視聴します。